

味生 学び通信

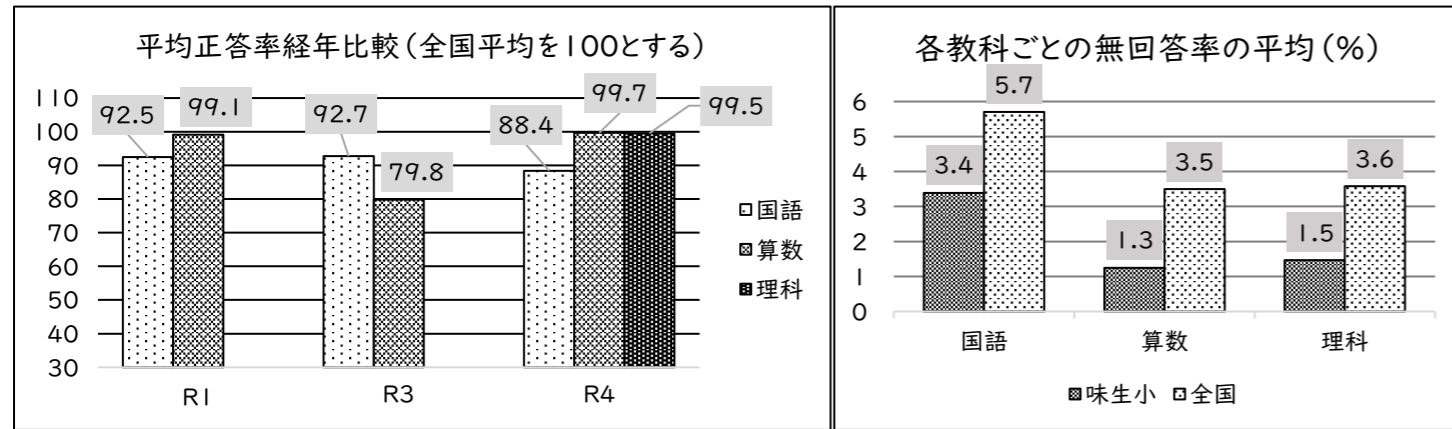
令和4年9月20日
 摂津市立味生小学校
 校長 大崎 貴子

6年生を対象として4月19日(火)に行われました「全国学力・学習状況調査」についてお知らせいたします。

「全国学力・学習状況調査」は全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施されています。以下に全体の結果と教科ごとの結果、児童質問紙の結果と学校の取組み、保護者の皆様へのお願いをお示しいたします。

全国学力・学習状況調査の結果

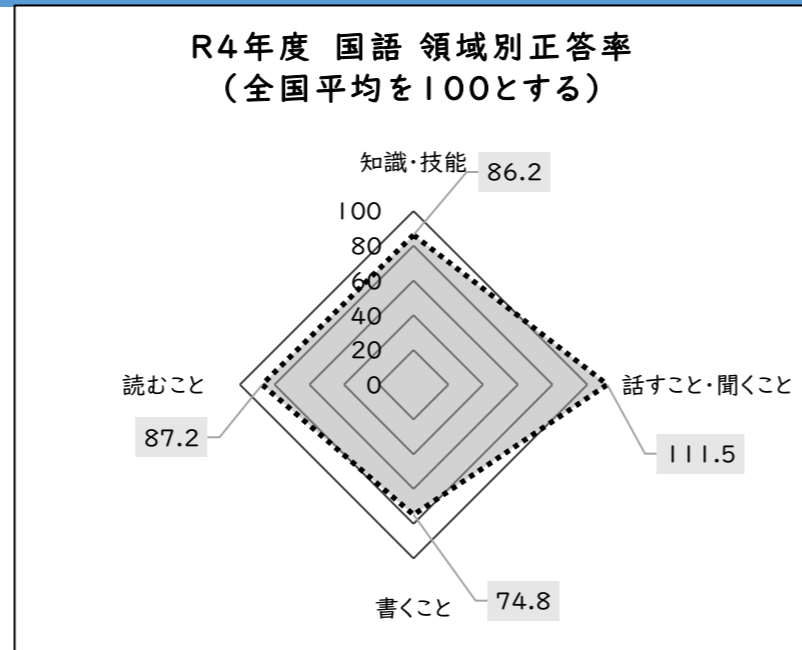
R4年度の平均正答率をみると、国語で全国平均を下回り、算数と理科で全国平均に近い結果となりました。また、無回答率は全国平均よりも著しく低く、どんな問題にもねばり強く向き合う意欲が伺えました。以下に各教科の結果の詳細をお示しします。



※R2年度は未実施。理科は3年に1回の実施。

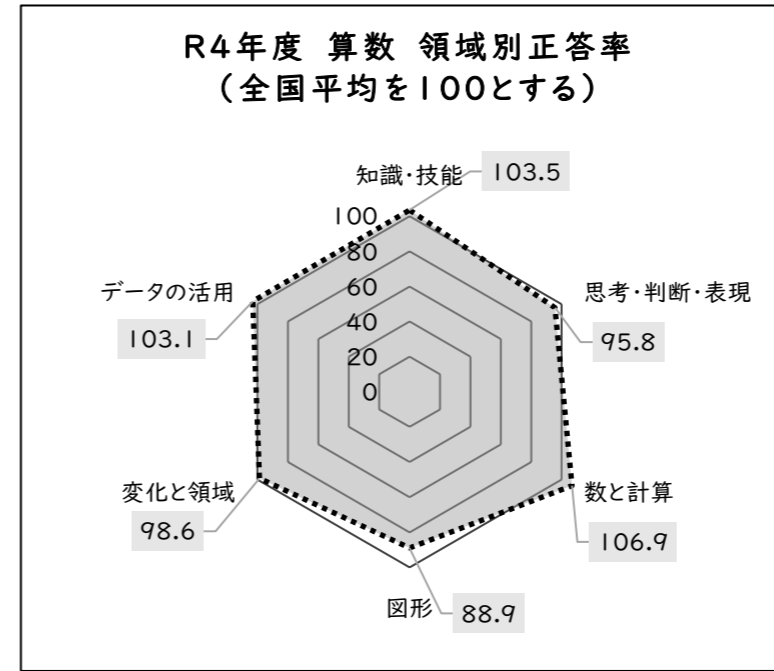
国語

国語では、「話すこと・聞くこと」において全国平均を大きく上回る結果がでました。一方で、知識・技能、読むこと、書くことにおいて課題が見られました。特に課題と見られる問題の1つとして「人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」があげられます。これは、物語に含まれるメッセージを自分なりに読み取ることができるかどうかが問われています。作者の意図や表現技法に思いを馳せながら読むことに課題があるといえます。



算数

算数では、概ね各領域で全国平均に近い結果となりました。特に、「数と計算」の領域では、全国平均を100としたときの値が106.9と著しく上回りました。ただし、図形においては、昨年度同様、課題が見られました。今年度はプログラミングの内容(※)が含まれており、論理的思考力について課題があるとも言えます。



長方形のプログラム

```

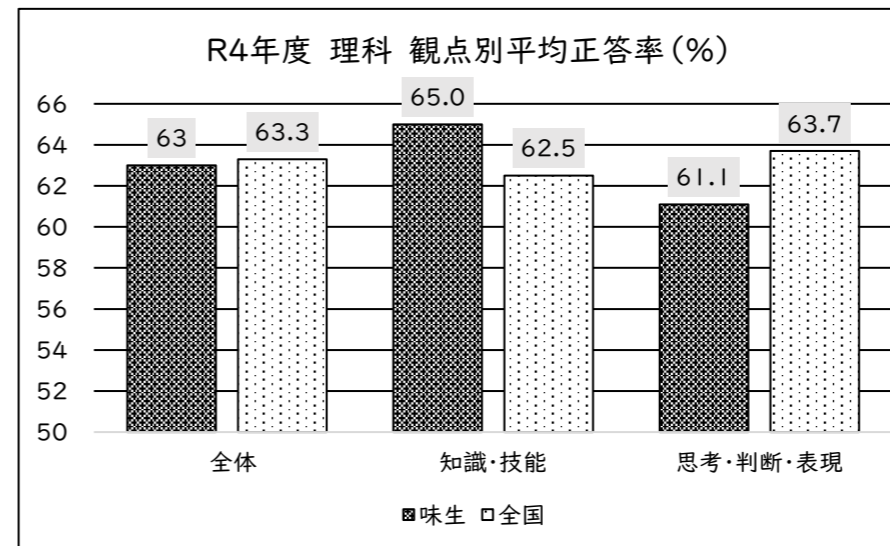
5 cm の直線を引く。
↓
左に 90° 回転する。
↓
7 cm の直線を引く。
↓
左に 90° 回転する。
↓
1 cm の直線を引く。
↓
左に 90° 回転する。
↓
3 cm の直線を引く。
    
```

※プログラミング出題例
 「縦3cm、横5cmの長方形をかくために空欄に当てはまる数を書きましょう。」

詳しい問題情報はコチラから

国立教育政策研究所 web サイト

理科

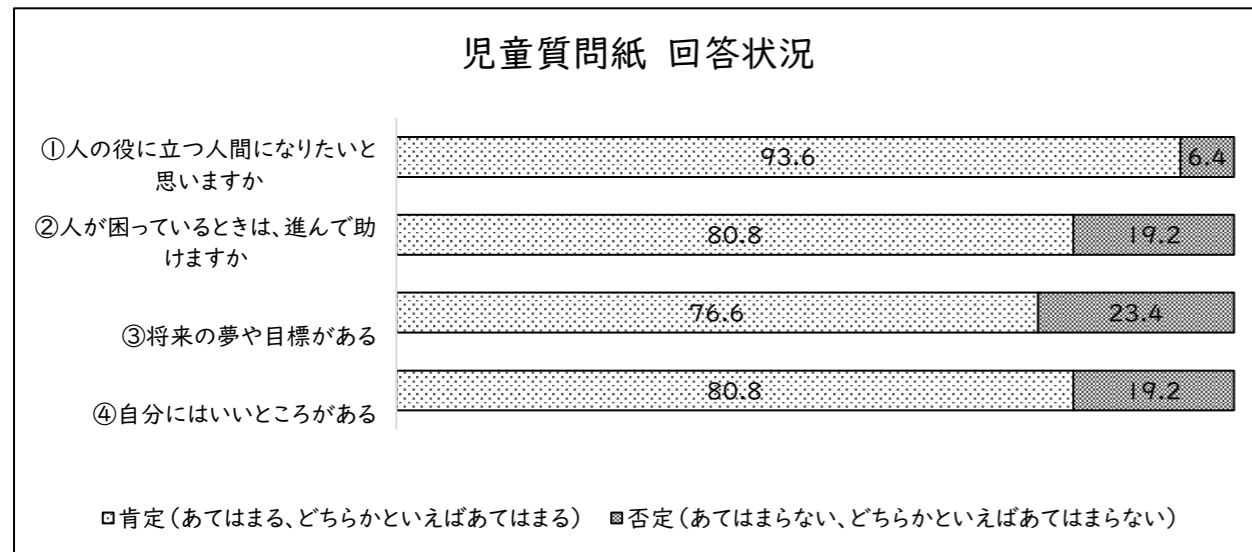


理科では、全体を見ると、全国平均に近い正答率となっていますが、観点別にみると、知識・技能では全国平均を上回り、思考・判断・表現では、下回る結果となりました。課題とみられる理科の思考・判断・表現の力は、実験や観察の結果を論理的に考察する力が問われる問題が多く出題されました。算数でもプログラミングで論理的思考力を問われていましたが、理科では、より様々な視点からの分析解釈が求められる問題が出題されていました。

児童質問紙調査

児童の規範意識や自己有用感をはかるための質問に対する、今年度の回答状況が下のグラフです。回答は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の4択で、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」を肯定、「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」を否定と捉えてグラフに表しています。

「①人の役に立つ人間になりたいと思いますか」では、93.6%が肯定的な回答で、将来の理想の自分像を良い形で持っていると考えられます。一方で、「③将来の夢や目標がある」「④自分にはいいところがある」では、否定的な回答が増えています。「②人が困っているときは、進んで助けますか」の回答状況も含めて分析すると、将来像と現在をつなぐことができず、行動に移すことができている児童が20%ほどいると、読み取ることもできます。



学校の取組みと保護者の皆様へのお願い

前述の通り、全国学力・学習状況調査は、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが目的の1つに位置付けられています。本校では、小学校学習指導要領に示される力が児童についているか、教員はそれに基づいた授業が行えているかを確認するためにも結果の分析を行っています。9月2日には、校内での研修を行い、学校として縦のつながりを意識した指導について、協議を行いました。【学校での取組み】に一部情報共有をさせていただきます。

また、児童の成長のために保護者の皆様へお願いがございますので、ぜひ、ご家庭でのお子さまとの関わりの参考にしてください。

小グループで結果の分析と
それに基づく指導の改善について協議し、
協議内容を全体共有しました。



【学校での取組み】

○ 結果の分析と、取組みや指導を考える校内研修を実施しました。

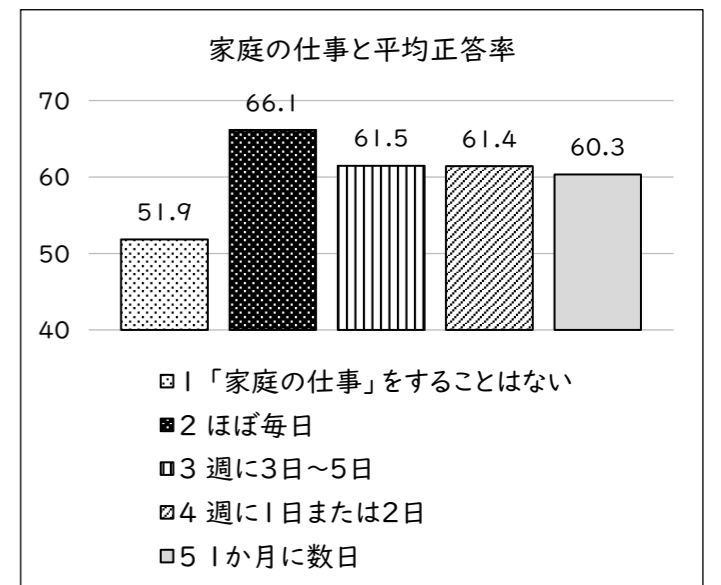
目標	国語の知識・技能の向上	読書活動の推進	想像力(イメージする力)の向上(算数)
高学年	漢字の学習は熟語で意味をおさえながら行う。 主語、述語の文法を授業で指導する。	同じ本を読んだ感想を交流する活動を行う。	文章から図に表す活動や自分で図を考えてかく活動を行う。
中学年	漢字の学び方についての指導を行う。	目的をもった読書活動を行う。	量に気を付けて図をかく活動を行う。
低学年	漢字の宿題を活用する。 助詞に気を付けて文を書く指導を行う。	絵本を読んで簡単な感想を伝え合う活動を行う。	教科書の絵を指で押さえてたり、印をつけたりする活動を行う。

【保護者の皆様へのお願い】

○家庭の仕事の充実

右のグラフは、5・6年生を対象に4月20日(水)に行われた大阪府の「すくすくウォッチ」の結果です。縦軸は平均正答率を表しています。家庭の仕事をするのではない児童よりも、ほぼ毎日する児童の方が平均正答率で14.2点高い結果が出ています。家庭の仕事することで、段取りを考えたり、効率よくするための工夫を考えたり、責任をもって仕事に取り組んだり、様々な経験を積み、学力にも反映されたのではないかと考えております。

ぜひ、家庭の仕事で様々な経験をさせてあげてください。「やって当たり前」と思うのではなく、「ありがとう」と感謝の気持ちをたくさん伝えて、子どもの自己有用感を育てていきましょう。



○読書活動について

味生小では、「読書が好きですか」の質問に否定的な回答が高い傾向があります。(6年生児童質問紙調査では31.9%)

学校でも、様々な読書推進活動を行っていますので、ご家庭でも、子どもたちの読書への興味関心をより一層高めるため、引き続きのご協力をお願いします。